

創意工夫・独創性など施行者が提案する評価指標について

多様化する市街地再開発事業の評価に当たっては、事業目的の重点の置き方や課せられる課題が地区ごとに異なることから、それぞれの地区特性に応じた評価を行う必要性があります。

また、地区ごとに地域の個性や多様な魅力を生み出す創意工夫・独創的な取組についても評価を行う必要があります。

赤坂一丁目地区では、下表の評価指標を『創意工夫・独創性など施行者が提案する評価指標』として設定します。

表 創意工夫・独創性など施行者が提案する評価指標（赤坂一丁目地区）

評価指標	評価内容
① 地下鉄連絡通路・地下鉄連絡広場の整備と活用	・地下鉄連絡通路・地下鉄連絡広場の整備 ・地下鉄連絡通路・地下鉄連絡広場整備の取組への感性・官能調査（アンケート調査による）
② 豊かな緑化空間の整備と維持管理	・緑化空間の整備と維持管理 ・緑化空間整備・維持管理の取組への感性・官能調査（アンケート調査による）
③ 国際水準のコンファレンスの整備と運用	・国際水準のコンファレンスの整備と運用

（1）評価項目として設定した背景、経緯、理由等

① 地下鉄連絡通路・地下鉄連絡広場の整備

赤坂一丁目地区市街地再開発事業では、隣接する溜池山王駅と計画地を結ぶ地下鉄連絡通路及び地下鉄連絡広場を整備しました。これにより、従前からの課題であった、溜池山王駅から赤坂一丁目、虎ノ門方面へのバリアフリー動線も備えた円滑で快適な歩行者空間が形成されています。また、地下鉄連絡広場及びこれと一体的に整備したサンクン広場において、にぎわいに資するイベントや展示を行うなど地域の魅力づくりに貢献していることから評価します。

② 緑化空間の整備と維持管理

赤坂一丁目地区市街地再開発事業では、赤坂・虎ノ門緑道の起点となる「グリーンアベニュー」を整備し、快適な緑陰空間を創出したほか、敷地内には緩やかな起伏に沿って様々な人々が憩うことができる約 6,500 m²（緑化率：約 58%）

の大規模な緑化空間を整備しました。また、緑道の結節点部分には緑豊かな「グリーンプラザ」や「街かど広場」を整備し、隣接街区の緑、オープンスペースと連携を図っています。さらに、緑化部分は、自然樹林にならった維持管理を行うことで生物多様性に配慮したエコロジカルネットワークの形成に寄与していることから、緑地空間の整備と維持管理について評価します。

③ 国際水準のコンファレンスの整備と運用

赤坂一丁目地区市街地再開発事業では、国際的な競争力を有するビジネス拠点の形成へ向け、国際水準のコンファレンスを整備しました。当地区のコンファレンスは、国際会議や企業の催事などの様々なニーズに対応するため、大中小それぞれの規模の会議室及びアンフィシアター等の特殊会議室を整備しています。しゅん工後は、実際に国際規模の会議やワークショップに利用されていることから、国際水準のコンファレンスの整備と運用について評価します。